

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道函館市 市立函館恵山病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	透	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
244,431	4,928	第1種該当	-	20：1

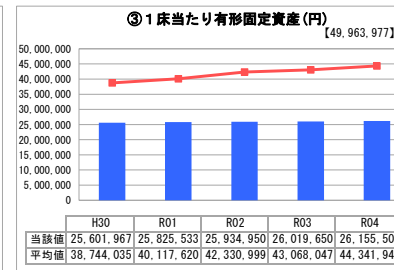
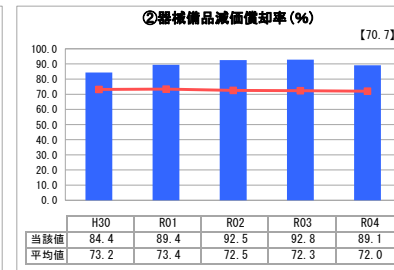
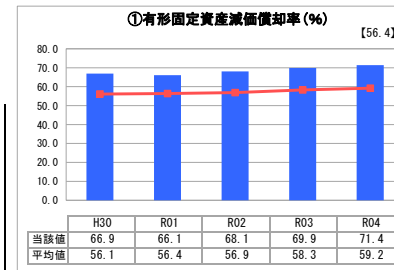
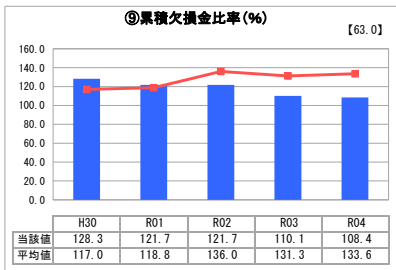
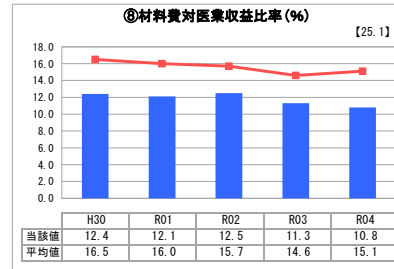
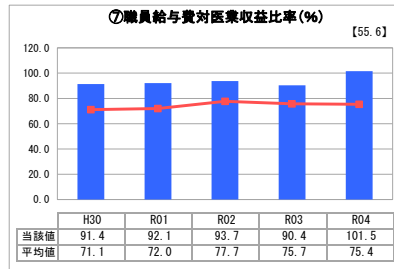
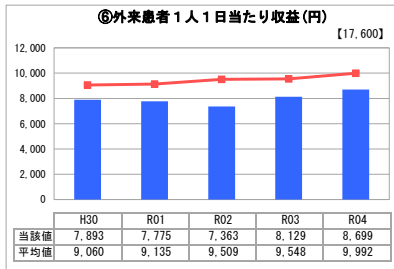
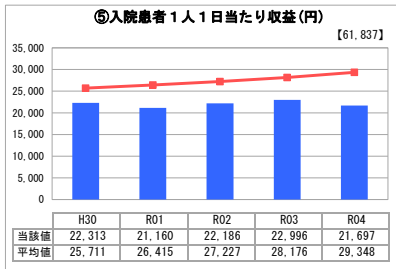
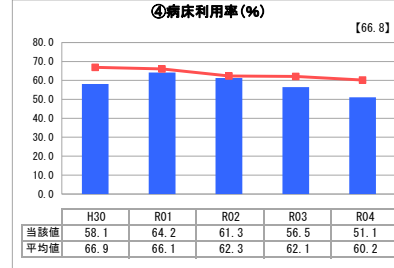
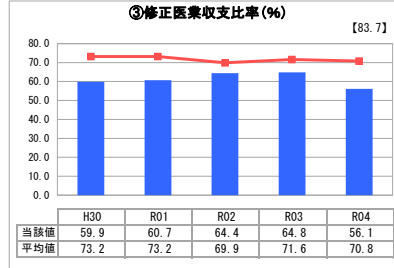
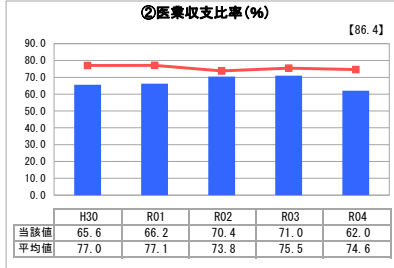
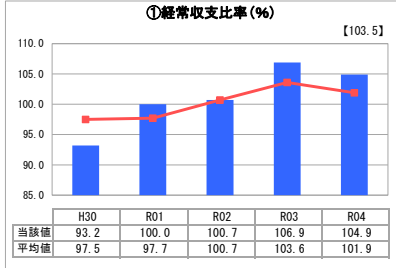
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
-	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	34	34

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

I 地域において担っている役割

市立函館恵山病院は、恵山・戸井・榎法華地域における唯一の病院として、入院医療、救急医療を提供しています。また、人工透析等に代表される慢性期の医療を、特に医療の必要度が高い方を中心に提供しており、今後も引き続きその役割を果たします。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域の人口減少に伴う入院・外来患者数の減少等により医業収益が減少していることから、医業収支比率が平均値より低くなっており、病床利用率も低下傾向にあります。令和元年度は透析室の移転拡充を行い病床利用率が微増しました。職員給与費対医業収益比率が平均値より高く、材料費対医業収益比率が逆に平均値より低くなっていますが、療養病床だけを有する病院に多くみられる傾向です。なお、令和元年度以降の経常収支比率の上昇は、一般会計からの繰入金によるものです。

2. 老朽化の状況について

当院は平成14年の移転新築から令和4年で20年を経過していることから、施設の老朽化が課題の1つとなっており、設備の計画的な補修、改修が必要となってきています。

全体総括

市立函館恵山病院は、恵山・戸井・榎法華地域におけるプライマリケア（初期医療）および救急医療の提供、ならびに慢性期における入院医療の役割を担っています。地域の人口減少に伴い患者数が減少する一方、救急医療等の病院機能の維持には一定の診療体制が必要であり、引き続き一般会計からの一定の支援を受けつつ、地域における唯一の病院として、その役割を果たします。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。